

このメールは当協会会員に登録されている方、当協会職員と名刺交換いただいた方、当協会主催の事業にご参加された方に配信しております。
今後配信を希望されない方は、お手数ですが[メール配信の停止]より配信停止の手続きをお願い申し上げます。

<目次>

▼最近の動向から▼

第 109 回 「UHF 帯 RFID (IC タグ) の電波法省令改正」

▼(財)海外技術者研修協会(AOTS)からのお知らせ／経済産業省受託事業▼

「貿易投資円滑化支援事業(実証事業)」の公募説明会

▼展示会▼

「豊かな未来を拓くロジスティクスイノベーション
～環境調和とグローバル化～」～
「国際物流総合展 2010」 出展申込締切日迫る!

▼講座・セミナー・研究会▼

【01】～5月11日開講、受講申込を受付中～

「第84期(東京) 物流技術管理士資格認定講座」

【02】～物流・ロジスティクスの高度化、物流現場運営の強化～

「物流テクノロジー現地フォーラム2010」

【03】～『グリーンロジスティクス管理士』の資格を授与～

「第6期グリーンロジスティクス管理士資格認定講座」

【04】～カンに頼った現場作業改善から、I E活用による現場作業改善へ～

「物流I E実践セミナー / 東京開催」

【05】～最先端の事例・理論の吸収を通して 新しいロジスティクスの価値を創造する～

「ロジスティクスシステム研究会」/5つの研究テーマ(案)を提示

○コンプライアンス ○資産効率化 ○グローバル化

○情報システム ○人材育成

<<配信停止、変更の手続きは末尾をご参照ください>>

★

■最近の動向から(第109回)■

>> UHF 帯 RFID (IC タグ) の電波法省令改正 <<

★

ここでは、JILS 総合研究所の調査研究、標準化活動や各種委員会動向等から、最近のホットな話題を適宜ピックアップして配信致します。

UHF 帯 RFID の電波法省令改正が行われます。主な改正ポイントは、中出力型 RFID 機器の制度化、使用周波数の拡大およびキャリアセンス時間の緩和です。といってもユーザにとって何のこともだか、わかりませんが、改正趣旨は、サプライチェーンの全体にわたる RF タグ利用の連続性確保にあるとされていますので、過去の電波法省

令改正経緯と合わせて簡単に説明しておきます。

2003年からのRFIDに関連する各種実証実験では、UHF帯RFIDが、機能的にも價格的にもサプライチェーンに活用できる画期的なシステムとして紹介されました。UHF帯は米国ではETC（有料道路料金収受システム）を含め幅広く利用されていましたが、欧州と日本国内では、当時、ICカードに利用されている13.56MHz帯の近接型利用のRFタグがラベル等に利用される中心的な周波数でした。

実証実験では、価格とRFタグの一括読取の可否が中心的な話題になり、現場関係者にはRFタグが読めないのでは導入を時期尚早とする感想が定着してしまいました。しかし、機器・システムベンダーは、その後、実証実験を含めて実装環境や運用方法に工夫を重ね、最近では実用面でも効果を発揮するようになってきています。この背景には、電波法の省令改正という大きな改善がありました。

RFタグの一括読取の周波数上の処理方法は、処理時間を早くするか、利用周波数を干渉しない範囲でずらして利用する必要があります。処理時間を早くする方法は、通信データ量を少なくするか、高速通信が可能な周波数帯域を利用することになります。また、移動中に、たくさんのRFタグを読み取るにはコンベヤ等の移動時間を遅くし、間隔を空けて通信可能範囲を広くとることが必要になります。

米国では可能で日本で一括読み取りできなかった原因の一つには、日本のUHF帯の利用周波数帯域が米国に比して著しく狭く、帯域を分割して同時に複数処理することができなかったことにあります。多車線の高速道路と市町村道の違いのようなものです。

950MHzのUHF帯の周波数が利用可能になった2005年4月の電波法施行規則では、免許の必要で固定型の高出力型（1W）のみの規定でしたが、翌2006年1月には免許不要で移動が自由な特定小電力無線局の低出力型タグ（10mW、通信距離は20cm程度まで）も規定されました。また、2008年5月には電池付きの特定小電力型アクティブタグ（1mWと10mW）の規定が追加されました。同時に、高出力型についてはRFタグの反射波をリーダの送信波とずらすミラーサブキャリア方式という干渉防止技術が追加されました。

今回改正は、高出力と低出力の間の中出力型（250mW）を設け、移動自由で2m程度の通信距離が確保できる機能を追加し、一括読取可能であり、かつ、一般の公道上でも利用可能な利便性の向上を図りました。また、いきなり高速道路にはなりません、周波数帯域拡大の第一ステップとして956MHz～958MHzが追加されます。5年後には960MHzまでの拡張も検討されています。さらに、特定小電力無線局の干渉回避条件が改善され、速い通信速度で回線が3回線から5回線に拡大されます。

こういった改正に伴って、RFID実証実験当初の利用環境とは飛躍的に改善された通信環境になっていますので、今回改正に対応した新製品の登場を待つて再度RFID活用のトライアルに挑戦してみてください。

【問合せ先】JILS 総研 吉本 yoshimoto@logistics.or.jp

▼（財）海外技術者研修協会(AOTS)からのお知らせ／経済産業省受託事業▼

★

■「貿易投資円滑化支援事業（実証事業）」の公募説明会■

東京会場：2010年4月27日（火）、大阪会場：2010年4月28日（水）

★

開発途上国における貿易・投資活性化のための環境整備に向け、日本の経済発展の基盤となった経済・社会システムや我が国が有する技術・ノウハウ等を普及するために、企業・NPO・大学等が有する技術・ノウハウを開発途上国へ紹介するとともに、その利用・導入の可能性を検証するために、現地で実証するものであり、実証の対象となる技術・ノウハウ及び実証事業計画を、企業等から公募します。

【東京会場】日時：2010年4月27日（火） 14:00～16:00

【大阪会場】日時：2010年4月28日（水） 14:00～16:00

※詳細は以下URLをご参照ください。

<http://www.aots.or.jp/jp/osirase/100412/100412.html>

▼展示会▼

★

「豊かな未来を拓くロジスティクスイノベーション
～環境調和とグローバル化～」～

■『国際物流総合展 2010』 出展者募集中！■

☆出展申込締切日迫る！お早めにお申込ください☆

★

内外の最新物流機器・システム・情報等のソフトとハードを一堂に結集し、交易
振興・技術の向上・情報の提供・人的交流等を促進することを目的に「国際物流総
合展 2010」を開催いたします。

今回は「豊かな未来を拓くロジスティクスイノベーション ～環境調和とグローバ
リゼーション～」をテーマに、2010年9月14日（火）～17日（金）の4日間、東京ビ
ッグサイトにて開催を予定しております。

アジア最大の物流機器・システムの展示会である本展示会へ、関係各位の積極的
なご出展をお待ちしております。

【国際物流総合展 2010 開催概要】

■会期：2010年9月14日（火）～17日（金）4日間 10:00～17:00

■会場：東京ビッグサイト 東2・3・4・5・6ホール

■展示予定規模：400社 1,800小間

■入場予定者数：125,000人

■出展対象：

○保管機器システム ○仕分けシステム ○ピッキングシステム

○搬送システム ○産業車両 ○運搬車両

○トラック・特装車両 ○パレット・コンテナ ○包装システム

○サードパーティロジスティクス ○情報機器・ソフトウェア

○エンジニアリング・コンサルティング ○保管・輸送サービス

○物流機器部品 ○物流関連環境システム

○物流施設開発・投資 ○企業誘致・港湾 空港利用促進

○出版・団体

☆「トラック輸送」「包装」「グローバルロジスティクスソリューション」の3つ
の分野にフォーカスした、集中展示コーナーを開催いたします。

【安全で環境にやさしいトラック輸送】

【環境にやさしい包装システム】

【グローバルロジスティクスソリューション】

詳細は国際物流総合展のホームページをご覧ください。

<http://www.logis-tech-tokyo.gr.jp/>

【お問い合わせ】 普及開発部：松井・星野

▼講座・セミナー・研究会▼

★

～5月11日開講、受講申込を受付中～

■第84期（東京） 物流技術管理士資格認定講座 ■

★

各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタントが務める講師陣
のもと、物流管理者及び技術者として必要な物流の全領域にわたる専門知識とマネ
ジメント技術を、前21日間のカリキュラムを通じ、総合的に習得することを目的と
しております。

2010年度は第84期東京開講（5月11日）をはじめとして、3地区にて計6期

の開催を予定しております。

【開催期間】第84期 2010年5月11日(火)～2010年11月12日(金)

開催がせまっておりますので、お早めにお申込ください。

受講料：会員企業 472,500円／非会員 57,7500円

■詳細とお申し込みは下記 URL を参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html#clm>

★-----

～物流・ロジスティクスの高度化、物流現場運営の強化～

■物流テクノロジー現地フォーラム2010■ 参加申込 受付中

★-----

先進的な物流現場の見学を通して、最新の物流技術の活用、生産性や品質向上のための物流現場の運営方法などを研究することを目的に5月19日よりスタートいたします。

物流・ロジスティクスの高度化、物流現場運営の強化のために本フォーラムへの参加をご検討ください。

【開催期間】2010年5月～2011年3月

(8月、12月を除き毎月1回開催)

※毎回主査が同行し、見学先のレポートをまとめ後日配布いたします

参加料：会員企業 157,500円／非会員 189,000円

■詳細とお申し込みは下記 URL を参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/forum.html>

★-----

～「グリーンロジスティクス管理士」の資格を授与～

■第6期グリーンロジスティクス管理士資格認定講座■ 申込受付開始

★-----

物流・ロジスティクス分野における環境負荷を定量的に把握し、その低減のための施策の立案、推進、評価ができる人材の育成を目的とした「グリーンロジスティクス管理士資格認定講座」(旧称:グリーンロジスティクスエキスパート講座)を7月より開講いたします。

講座の特徴として、グループ討議を多く取り入れ、ケーススタディによる環境負荷低減施策の作成にあたることで、実践力を身に付ける内容となっています。講座を修了し、所定の試験に合格した方には「グリーンロジスティクス管理士」の資格が授与されます。

【開催期間】2010年7月9日～2011年1月21日

【対象】製造業、流通業、物流業のロジスティクス部門、物流部門

環境部門のリーダー層の方々

【受講料】会員企業：247,800円 非会員：294,000円

■詳細とお申し込みは下記 URL を参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html#glxpt>

★-----

～カンに頼った現場作業改善から、I E活用による現場作業改善へ～

■物流I E実践セミナー / 東京開催■

★-----

本セミナーでは、物流作業の生産性向上を図るために、物流におけるI E(インダストリアル・エンジニアリング)の活用をテーマに、I Eの基礎知識や具体的な活用の手法について、講義とグループ演習を通じて学んでいただきます。

【会期】2010年7月21日(水)～22(木) 10:00～17:00 (2日間)

【会場】タイム24ビル(江東区青海)

【参加料】JILS会員 63,000円(税込) / JILS会員外 84,000円(税込)

【講師】福島 和伸氏 城西大学 経営学部 教授

野田 洋史氏 HI研究所 代表

【対象】物流部門リーダー、センター長、物流企画・運営・改善スタッフ、
生産管理スタッフ等物流作業改善・生産性向上に取り組む方々

プログラムの詳細は下記ホームページをご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/seminar.html#kanri>

★-----
～最先端の事例・理論の吸収を通して 新しいロジスティクスの価値を創造する～

■「ロジスティクスシステム研究会」■

☆2010年度「5つの研究テーマ（案）」を提示☆

★-----
ロジスティクスシステム研究会は、2010年度の5つの研究テーマ（案）を提示しました。

研究会では、この5つの研究テーマ（案）を軸に、参加メンバーとの協議のもと、実際の会合テーマを決定し、メンバーによる事例発表、ゲストスピーカによる講演と情報交流を行います。

また、企画委員会を中心に、人脈づくりとビジネス機会創出を目的とした懇親会（任意参加）を毎会合後に実施します。

【2010年度研究テーマ（案）】

1. ロジスティクス領域のコンプライアンス対応
 - 1) 労務管理（派遣法改正対応）など
 - 2) 国際財務報告基準（IFRS）など
 - 3) 環境（改正省エネ法対応とコスト削減）など
2. ロジスティクス領域の資産効率化対応
 - 1) ロジスティクス領域におけるFM（ファシリティマネジメント）など
3. ロジスティクスを基軸としたグローバル化対応
 - 1) 中国、ブラジル、インドネシア等の新興国対応 など
4. ロジスティクス領域の情報システム化対応
 - 1) ERP、PSI など
 - 2) WMS、TMS など
 - 3) クラウドコンピューティング など
5. ロジスティクス領域の人材育成
 - 1) 企業のグローバル化対応に伴う人材育成 など

【会 期】 2010年5月18日（火）～2011年3月 各回 14:00～17:00（2テーマ発表）
／合計10会合＋現場見学会（オプション企画）

【会 場】 東京都内会場（合宿、見学会は除く）

【定 員】 30名（予定）

【参加料】 JILS 会 員：73,500円（税込）

※JILS会員外の方でご参加をご検討、希望される際は、事務局まで
ご相談ください。

【問合先】 本部 顧客サービス部 遠藤
mail: endo@logistics.or.jp

TEL: 03-5484-4021

※プログラムの詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/member/toroku/index.html>

■=====

発行：社団法人日本ロジスティクスシステム協会

〒105-0014 東京都港区芝 2-28-8 芝 2 丁目ビル 3F

TEL 03-5484-4021 FAX03-5484-4031

<http://www.logistics.or.jp/>

☆このメールマガジンは、配信を希望された方に
無料で提供しているものです。

★配信停止は下記をクリックしてください。

##\$SSLDEL1##

★J I L Sメールマガジン 配信登録、登録事項変更、パスワード再発
行はこちらから 。<http://www.logistics.or.jp/ml/index.html>

★バックナンバーは下記に掲載されております。

<http://www.logistics.or.jp/ml/backnumber.html>

★ご意見、ご感想、配信に関するお問い合わせなどはこちら★

info@logistics.or.jp

■